

日経高配当株 50 の銘柄定期見直し延期について

日本経済新聞社は 28 日、日経平均株価の構成銘柄を対象にした株価指数「日経平均高配当株 50 指数」の定期見直しの 3 か月延期を決定しましたのでお知らせします。新型コロナウイルスの感染拡大で企業が業績予想の開示を見送ったり、開示内容を取り消したりする事例が相次いでいます。こうした事情を踏まえ、6 月 30 日に実施を予定していた日経高配当株 50 の定期見直しを今年に限り、9 月 25 日に延ばすことにしました。

今回の延期決定はより確度の高い情報をもとに、高配当銘柄の採用を目指すものです。2021 年 3 月期の第 1 四半期決算の開示が進む今夏に向けて、新型コロナウイルスの業績や配当政策への影響がはっきりしてくると思われれます。それを見極めたうえで定期見直し作業を進める予定です。

通常、日経高配当株 50 の定期見直しは日経の予想配当をもとに、日経平均構成銘柄について 5 月末時点（基準日時点）での「予想配当利回りランキング」を作成し、そこから入れ替えを実施しています。今回は 8 月末時点のランキングをもとに見直しを実施します。延期後の基準日と実際の入替え日は以下の通りです。

対象	延期前	延期後
基準日	2020 年 5 月 29 日	2020 年 8 月 31 日
入れ替え日	2020 年 6 月 30 日	2020 年 9 月 25 日

なお、本決定に伴い、延期期間中の 6 月および 7 月の各月末時点で予想配当がゼロ（無配）となった銘柄（予想配当がない銘柄は除く）については、翌月の第 7 営業日に除外します。また、定期入れ替えの延期に関わらず、日経平均高配当株 50 指数の構成銘柄が日経平均から除外された場合は、当該銘柄を日経平均と同日に除外します。